

川崎労働史

◆概要

川崎における近代産業の黎明期から昭和後期にかけての労働と産業の歴史を「戦前編」、「戦後編」、「資料編」の3冊にまとめたものです。

労働者の運動面だけでなく、労働の態様、労働者生活、労働文化、産業活動、経営者の労務管理なども含めた「労働の歴史」「労働者の生活史」として、幅広い側面から編さんされています。



◆川崎労働史 戦前編 構成

[1987年3月発行、A5版、1214頁、5,000円]

総論 日本労働史のなかの川崎 (藤本 武)

本論 (渡辺 悦次)

第1章 近代的工業の進出と工業都市川崎の形成

第2章 関東大震災と川崎の産業と労働

第3章 昭和恐慌期の川崎の産業と労働

第4章 準戦時体制下の川崎の産業と労働

第5章 日中戦争下の川崎の産業と労働

第6章 太平洋戦争下の川崎の産業と労働

◆川崎労働史 戦後編 構成

[1987年3月発行、A5版、1059頁、5,000円]

総論 日本労働史のなかの川崎 (藤本 武)

本論 (齊藤 秀夫)

第1章 占領期の労働と生活

第2章 講和後の労働と生活

第3章 激動期の労働と生活

◆川崎労働史 別編 構成

[1988年3月発行、A5版、637頁、2,000円]

戦前編 (資料・人名索引・統計) (渡辺 悦次)

戦後編 (資料・略年表・統計) (齊藤 秀夫)